

平成 27 年度 第 3 回 八幡市男女共同参画プラン懇話会
議事録

開催日時	平成 27 年 12 月 24 日（木）午後 1 時 30 分開会～午後 4 時 15 分閉会
開催場所	八幡市商工会 2 階会議室
会長	森川委員
出席者	岩崎委員、谷垣委員、能瀬委員、村田委員、森川委員、山中委員、佐野委員、野田委員、浜野委員（以上 9 名）
欠席者	大隅委員
議題	<ul style="list-style-type: none"> （1） 現行計画における取組の成果と課題について （2） 第 3 章 八幡市男女共同参画プランの体系について （3） 第 4 章 八幡市男女共同参画プランの内容について （4） その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> （1） 市民・事業所アンケート調査結果のまとめ(案) （2） 計画書素案第 1 章・2 章 （3） 計画書素案第 3 章・4 章 ※基本目標 8 当日差換 （4） 八幡市男女共同参画プランるーぶ計画Ⅱの総括と平成 28 年度以降の取り組み方針一覧 （5） 八幡市るーぶ計画Ⅱ（後期計画）体系改訂(案)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>1. 開会</p> <p>○開会あいさつ</p> <p>大隅委員から欠席の連絡をいただいている。 本日の会議は、前回同様、傍聴希望者はいないことをご報告する。 それでは、進行は会長にお願いしたい。</p>
会長	○あいさつ
事務局	○資料確認
H 委員	<p>送付した市民アンケートと事業所アンケートの結果を、皆さんお読みいただいたと思う。前回会議において説明したものを集約した。今日内容を見ていただいて、ご意見がなければ印刷に回したい。H 委員から、先ほど修正部分についてご意見があった。その部分を取り入れ、修正等を検討していきたいと思う。H 委員、よろしくお願ひしたい。</p> <p>市民アンケートの5ページの(2)「家庭生活について」①の書き方について、2行目の「～性別役割分担を否定する市民が過半数を占めて“いるが”、前回調査の結果に比べ『肯定的意見』は8.7ポイント減少している」は、上と下は同じことを言っていると思う。“が”で括ると、「しかし違う」という意味になるので、「～性別役割分担を否定する市民が過半数を占めて“おり”、～」と続ける文章にしたほうがいいと思う。</p>
G 委員	それはどこにあたるのか。
H 委員	<p>市民アンケートの5ページである。</p> <p>(3)「子育てと教育について」の上の2段に、いきなり「このように家族(妻子)を養うのは男性、家事、育児・介護は女性という性別役割“分業”意識～」とあるが、今までは“分担意識”という表現を使っていた。“分担”のほうが分かりやすいと思う。次も同様に「～男性の意識変革のための施策の推進に努め、役割“分業”意識～」の“分業”も“分担”の間違いだと思う。統一して欲しい。</p> <p>次の6ページ(5)「仕事と生活の調和について」の10行目から下が少し</p>

	<p>分かり難いと思った。まず、「女性が男性と同等に就職したり就職を継続したりすることができるよう～」と“同等”という言葉を使っている。多分これは、男性と平等に機会が与えられるということを言いたいのだと思うが、「希望する女性が就職したり働き続けたりすることができるよう～」としたほうが分かり易いのではないか。もし機会が与えられ男性と同様にと書くのであれば、「女性も男性と同等に就職や就業を継続する機会が与えられ～」としないと、結構難しいと思う。単純にここは何が言いたいのか。「希望する女性が就職したり働き続けたりすることができる」としたほうが分かり易い。</p> <p>その下から3行目「長時間労働があたりまえといったこれまでの働き方を見直し、多様な働き方を受け入れ、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が“図れた社会づくりに寄与するための”取組みが求められる。」それはそうだが、別にそういう社会づくりに寄与するのではなく、それをしてもらわないと男女共同参画にならないという意味なので、「寄与」とか言わず、簡単に「男女共に仕事と生活の調和が“実現できるよう様々な”取組みが求められる。」くらいにしたほうが分かり易い。</p> <p>それから、事業所のほうも申し上げていいか。事業所のほうは、うまくまとめてくださっていると思うが、少し残念なのは80ページの（4）「男女共同参画全般について」の最後の2行である。「また、事業所においては、“女性が家庭や仕事上の問題を克服し、男性と同等に”働きやすい環境づくりが求められる。」これだけを見れば、女性が自分で努力して克服しないといけないように見える。言っている意味は多分違うと思う。「～事業所においては、“男女がともに家庭と仕事が両立できるよう”～」だと思う。“男性と同等に”と書くと、男女共同参画は首だけ男と女を変えて、今までの長時間労働をしなさいと言っているようである。これでは趣旨が伝わらないと思う。以上である。</p>
事務局	<p>この案件についてご審議いただき印刷に回す必要があったので、先に意見をお聞きした。</p>
H 委員	<p>6ページ（5）は“就職”を取って「希望する女性が働き続けることができるよう～」のほうが、あっさりするかもしれない。就職はみんなするから、入れるのであれば“再就職”かもしれない。しかし、民間は厳しいので就職を諦める人もいるかもしれないが。</p>
B 委員	<p>問題は事業所である。実際に育児休業を取る人がいても、非常にハンディキャップが大きい。トップが理解していて、職場環境全体が変わっていかないと、なかなか同等の働きはしにくい。企業のスケールにもよる。</p> <p>率直に言って、事業所アンケートの内容についてはこれでいいと思う。た</p>

	<p>だ、少数意見だけでまとめざるを得なかったのではないか。回答が非常に少なかつた。それを今後どう生かしていくのか。企業からの回答が少なすぎるので、そのあたりを今後課題として、どう周知徹底していくのか。経営上の問題もあり簡単にはいかないだろうが。</p>
事務局	<p>今のところは、「希望する女性が就職したり、働き続けたり、再就職できるよう～」</p>
H 委員	<p>今すっきりするものが浮かんだ。「希望する女性が働き続けて活躍することができるよう～」とするのが、今の時代に一番良いと思う。女性の活躍推進法もできたことだし、仕事と家庭の両立というほうが良い。</p>
事務局	<p>あと一番下の行は、「男女共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現できるよう幅広い取組みが求められる。」と修正させていただいてよろしいか。</p> <p>事業所アンケートの最後の2行「また、事業所においては、男女ともに家庭と仕事が両立できるよう、働きやすい環境づくりが求められる。」</p>
H 委員	<p>もし書くのであれば、ここは事業所のところだし「仕事」を先に書いたほうがいいのではないか。「働きやすい環境づくりが求められる」が述語であれば、「仕事と家庭」としたほうがいい。</p>
事務局	<p>今ご指摘いただいた部分については修正し送付してご確認いただくが、前回送付しているアンケートに、このまとめを付けて、報告書を取りまとめたかと思っています。よろしいか。</p>
会長	<p>言葉の使い方で随分と受け取り方も変わってくるので、そのことが大事だということがよく分かった。他に何かご意見はあるか。</p>
事務局	<p>○計画書素案第1章・2章について</p> <p>青色に変わっている部分が、前回から修正させていただいたところである。</p>
事務局	<p>1 ページ目に東日本大震災について入れさせてもらった。</p> <p>それと、9 ページにマザーズジョブカフェについて入れている。そのあたりを再度見ていただきたい。</p>
H 委員	<p>プランの趣旨の全体だが、少し順番を変えるだけですごく分かり易い気がした。</p>

<p>事務局</p>	<p>まず、最初に前回プラン以降の時代の変化が書かれている。これは一番大事だが、その次にどんな社会を目指すのかが出てくる。またその次に、その取り組みを八幡市はこうしてきた、けどまだ課題が残っていると、行ったり来たりしている。最初に、2段落目の目指すべき社会にしてはどうか。「このような状況の中」を削除し、「男性も女性も、お互いに人権を尊重し、～」とし、基本法は「1999年（平成11年）6月の」を入れずに「施行後16年あまりが経過し～」でいいのではないか。「～様々な取り組みが進められてきました。」で一旦終わる。どんな社会を目指して、そのために何をやってきたか。そして、その次にこのまま「八幡市では～」とし、次の丸も続ける。「～「八幡市男女共同参画プラン 一歩計画Ⅱ」を策定するとともに～」条例と色々な施策が同列に書いてあるが、条例は議会で承認を経て、すごく大事な基本である。本当は条例を作ってからプランを作るが、京都府でも先に計画ができて後で条例になっている。しかし、条例が一番の基本なので、時系列と条例も大事にして「～「八幡市男女共同参画プラン 一歩計画Ⅱ」を策定するとともに、八幡市男女共同参画推進条例を制定し、八幡市女性相談の開設～色々な施策を進めてきました。」とすれば取り組みが全部入れられる。それから3つ目に、その後情勢の変化があったということで、最初に書いてある「しかし我が国は、～」とし、次は少子高齢化が進展するから人口減少時代になるので、「～少子高齢化の進展」を先に書いて、次に「人口減少時代を迎え、社会経済や地域社会などの急速な変化を背景に、～」の次に、まず女性の活躍支援を持ってくれば良いと思う。「女性の活躍支援」が1つ目、2つ目に「ワーク・ライフ・バランス」とする。女性の活躍支援と男女のワーク・ライフ・バランスの実現は、表裏の大事な両輪である。3つ目に防災。ここだけ詳しく書いてあるが、「男女共同参画の視点に立った防災の取り組みが重要になってきています。」で括る。そういう時代の変化の中で、どんな課題が出てきたのか。4つ目に「男女間の暴力に関する問題の多様化など、男女共同参画に対して新たな課題や取り組みが求められています。」で括れると思う。そこから下から10行目の「また、現在も性別による役割分担意識は根強く～」に行く。最後に次の「このような状況を踏まえ、～」とすると、はっきりするのではないか。</p> <p>今の内容を、上から順番にさっと読み上げたい。</p> <p>「○男性も女性も、お互いに人権を尊重し、また、喜びも責任も分かち合い、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざすために定められた「男女共同参画社会基本法」（以下「基本法」という。）は、施行後16年あまりが経過し、国や地方自治体において、男女共同参画社会の実現に向け、行政・企業・国民が一体となった様々な取り組みが進められてきました。」</p> <p>「○八幡市では、基本法に基づき、2001年（平成13年）に「八幡市男女</p>
------------	---

	<p>共同参画プラン」を、2006年（平成18年）にはこれの改訂版である「八幡市男女共同参画プラン る一歩計画」を策定しました。この後、計画期間が終了することに伴い、2011年（平成23年）に計画を見直し、「八幡市男女共同参画プラン る一歩計画Ⅱ」（以下「前期プラン」という。）策定するとともに、八幡市男女共同参画推進条例を制定し、八幡市女性相談の開設や、八幡市女性ルームの開設など、様々な施策を進めてきました。」</p> <p>「○しかし我が国は、少子高齢化の進展、人口減少時代を迎え、社会経済や地域社会などの急速な変化を背景に、女性の活躍支援や、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、男女共同参画の視点に立った防災の取り組み、また、男女間の暴力に関する問題の多様化など、男女共同参画に関して新たな課題や取り組みが求められています。」</p> <p>「○また、現在も性別による役割分担意識は根強く、それに基づく男女の不平等はいまだ解消されていないのが現状です。～」以降は、このままの流れで。</p>
事務局	<p>再度修正した上で送付し、確認をいただきたいと思う。</p> <p>第1章・2章について、次回までにご意見をいただければ修正したい。今日は、特に第3章・4章についてご意見をいただきたいと思っている。第1章・2章についてご意見があれば、事務局までお願いしたい。</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 現行計画における取組の成果と課題について</p>
事務局	<p>○資料「八幡市男女共同参画プランる一歩計画Ⅱの総括と平成28年度以降の取り組み方針一覧」に基づき説明</p>
会長	<p>事務局からの資料説明について、何かご意見はあるか。今日はたくさんあるので、また後で思いつかれたらその時に言っていただければ結構である。</p> <p>(2) 第3章 八幡市男女共同参画プランの体系について</p>
会長	<p>第3章について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>○「八幡市男女共同参画プラン第3章 プランの体系」に基づき説明</p>
会長	<p>今事務局から説明をいただいた。何かご質問ご意見はあるか。</p>
H委員	<p>体系図のところ、2つある。1つは、せつかくDVの基本計画をきちんと</p>

	<p>と位置付けしているので、「八幡市女性活躍推進計画」という文言を、DVの基本計画と同じように入れてはどうか。この中のどれかという、基本目標2と5に入れられると、よりはっきりするのではないかと。基本目標4は入るのかどうか分からないが、少なくとも、2と5には入れて欲しい。</p> <p>もう1つ、防災はどこに入っているのか。普通考えると、基本目標7の安心安全のところに入るのではないかと。</p>
<p>事務局 (SRC)</p>	<p>防災に関する取り組みは、現行計画でも触れられており、今回は推進体制に入れている。防災、或いは実際に災害が起きた時の避難所運営の話は、地域防災計画の中で取り組むことになる。あくまでもこの計画自体は、男女共同参画の視点で各課の施策を見直して推進して欲しいという方向性を示しているものである。地域防災計画に関わる施策については、担当課は危機管理が窓口になるので、そこで取り組む施策の中に男女共同参画の視点を入れて取り組んでもらうことになる。具体的な施策よりも、推進体制の中で謳い込むような形にして追記させていただいている。地域での防災については、既に現行計画の中でも主要な施策・事業の中に盛り込まれているので、それについては、基本的に踏襲するという位置付けにしている。防災という言葉が直接的には出てこないが。</p>
<p>H 委員</p>	<p>せっかく重要な課題だと書いているので、安心安全の基本目標7の主要施策4に防災を起こしておいて、(再掲)としてはどうか。防災会議には女性が入っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>入っている。</p>
<p>H 委員</p>	<p>それならそれで実際に動いていくと思うが、何か1項目起こしておいたほうが、同じ内容でもいいのではないかと。または、基本目標7の主要施策の6番目に防災について書いておいて、括弧書きでこれは、「どこどこの推進体制で記載」と書いておけばいいのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のご意見を参考に、再度取り入れていきたいと思う。また第4章で施策の関係について協議していただく中で、同様のご意見が出てくると思うので参考にさせていただきたい。</p>
<p>B 委員</p>	<p>プランの内容によって並べ替えるのか。内容は同じか。共通の内容がここで詳しく説明されていると理解していいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それで結構である。</p>

C 委員	<p>別にこれでいいのかもしれないが、基本目標6の主要施策2と3は順番を入れ替えて、2のほうに男女間の暴力防止のための地域づくりを入れて、3に相談とか被害者支援体制の推進としてはどうか。今までのものはそういう順になっている。</p> <p>やはり、安全安心の中に防災については入れて欲しい。</p>
事務局	<p>次の施策のところを出てくるので、ご意見を取り入れていきたいと思っている。再度検討させていただきたい。</p>
会長	<p>他にいかがか。</p> <p>(3) 第4章 八幡市男女共同参画プランの内容について</p>
事務局	<p>○「八幡市男女共同参画プラン第4章 プランの内容<基本目標1>」に基づき説明</p>
J 委員	<p>何を意味するかを説明しないことには、どう処理すればいいのかわからない。</p>
事務局	<p>分かり難いと思うが、市役所に色々な部と課がある。そこで男女共同参画に関する取り組みをしていただいたか調査を行い、その結果をこの基本目標に合わせて表に載せる。その結果、できていないところは今後の課題として後期プランに載せていく必要があるし、できている部分については少し抑えるという、議論のひとつの資料として見ていただければいいのではないかと考えている。</p> <p>もう一点気が付いたところは、成果指標で当初の基準値が今回抜けているので入れたほうがいいのではないかという意見がある。例えば、4ページの一番上の成果指標で27年度の目標値が50%と出ているが、じゃあ実際に5年前の基準値はいくらだったのかを入れておく必要があるのでは、という話を聞いている。数値を言うと、平成22年度は29.6%、それが26年度末で35.5%と伸びていることは伸びている。新目標値はこのメンバーの中で決めていただければいいと思っている。27年度の目標値は、40%の間違いであると先ほど説明があった。新目標値は50%になっているが、40%でいいのかという議論をしてもらえればいいのかかなと思っている。各課にまとめたいただいた部分で、今後の方向というあたりを記載している。そのあたりの表記を含めて議論していただければどうかと思っている。</p>
H 委員	<p>では次に何を議論して、何を決めればいいのか分かり難い。未着手であれば、何がネックなのかポイントだけ言ってもらおうとか。それと目標値は、成</p>

	<p>果を問われた時に数字で一応見えるものが要るのか。あと5年で半歩先ぐらい実現可能なものを皆で感覚的に決めるのか。</p>
事務局	<p>成果指標は、当初の22年度も決めているので、できれば残りの5年間でこれまでの伸び率を見ながら、この場で設定してもらえれば有難い。細かい点は担当から説明してもらおうしかないが。基本的には、この赤字の部分だけ直している。黒字の部分は、全部前のプランである。</p>
G 委員	<p>話が前後するかもしれないが、この資料を送付してもらった時に、市役所の各課に調査をされたことは分かった。A3の資料「八幡市男女共同参画プランの一歩計画Ⅱの総括と平成28年度以降の取り組み方針一覧」の実施状況で、合計126項目あるうちの107が着手で、未着手が19となっている。この19のうち、右側の「今後の方向」を見ると、未着手19のうち14は「継続」、「見直し」は2、「廃止」1、「不明」2となっている。「継続」というのは、なんとなく分かる。「廃止」や「不明」というのは、何故かということの説明してもらえれば分かり易い。「見直し」もそうだが。それと、この評価指標に何も書いていないところがある。書いてなければ評価のしようがないから、見直しも何もないのではないか。説明があっちいたりこっちいたりするので、何を説明してもらっているのかさっぱり分からなかった。</p>
事務局	<p>あくまでもこのまとめた部分は、実際に行った事業の結果である。今回、この「今後の方向」に赤字で書いている部分は、この結果に基づいて書いている。そのあたりを説明できれば良かったと思う。</p>
G 委員	<p>目標値をここで決めるという話があったが、これはあくまでも担当課が決めることではないのか。最初の数字を出すのは、担当課である。</p>
事務局	<p>当然目標値なり数字については、事務局側で出す。それについてご意見をいただく形になると思う。</p>
G 委員	<p>私も副会長の立場だが、今までついていけてなかった。</p>
事務局	<p>「不明」が2つほどあるについて、各課に取り組んでいるだろうということで調査をしたが、実際その課では取り組んでいなかった。例を言うと、資料の1ページ目の3つ目に「不明」とある。基本目標1の「男女共同参画へ向けた一人ひとりの気づきと学びを広げる」、2つ目の基本目標の事業名「子育てへの男性の参加のための講座の推進」ということで、ひとつは生涯学習センターで行っている事業、もうひとつは健康推進課・子育て支援課も実施しているだろうということで、調査をさせていただいた。そちらでは事業は</p>

	<p>実施していないという回答だった。ただ、「子育ての男女共同参画のための講座の実施」という事業としては、生涯学習センターで行っている。ただ、ひとつの課だけではなく、他課でも行っているということで、事務局で判断した事業の中では、健康推進課・子育て支援課でもこういう事業を実施しているということで調査をしたが、実際には回答がなかったため、不明が1件ある。もうひとつの不明は、最後の10ページ目の基本目標7「人が人として安心して暮らせる環境をつくる」の3つ目「貧困など生活上の困難に直面する男女への支援」で、これについては、生活支援課で実施されていると思い、「若者の自立に向けた支援」ということで調査した。生活困難者への支援は当然若者も含めてされている。ただ、「若者の自立に向けた支援」ということで調査をすると、事業としては実施していないという回答だったので、これについては「不明」ということになっている。ただ、「若者など～」と事業名を変えることによって、これについては今後継続した事業という見直しは可能である。後で項目を追っていく中で修正したい。先ほどG委員からご指摘があったように、ただ50%という数字を出したわけではなく、この5年間取り組んだ中で前回の40%に近づいたので、あと5年後には50%に事務局として上げるような計画をしていきたい。ここで再度ご意見をいただいて、修正していきたいということで提案している。</p>
H 委員	<p>5年後、市民にアンケートを取れば、取り組んだ結果、平等になっているという人が半分になればいいということか。</p>
事務局	<p>そうである。目標値なので、次の段階ではまた見直しがあると思うが。5年前に決めた目標値にはほぼ近づいてきていることもあり、もう一段上の数字をあげている。</p>
会長	<p>続いての説明では、重要事項をかいつまんで言っていただきたい。事前に読んできていただいていると思うので、その点についてはその都度ご質問いただければ、スムーズに議事進行していくのではないかと思います。</p>
B 委員	<p>40%から50%というのは、これを目標にするために何をしていくのかという言葉の後に出てくるものである。先に答えを求められているような気がして分からないということなので、先に進めてもらってはどうか。</p>
C 委員	<p>32年度になっても平等になったと感じる人が50%しかいないのかと思うと、女性としては残念である。</p>
事務局	<p>当然、100%という数字が立てられればいい。</p>

C 委員	<p>平等になったと感じる人が、半分より少し上回っていて欲しいと思う。</p> <p>< 5分休憩 ></p>
事務局	<p>限られた時間内での説明になるので、主な事業の変更や内容について事務局から説明させていただく。</p>
会長	<p>一応内容を全部説明していただいて、それから疑問に思われることを質問していただければと思う。</p>
事務局 (SRC)	<p>○「八幡市男女共同参画プラン第4章 プランの内容<基本目標2～7>」に基づき説明</p> <p><佐野委員退室></p> <p>○あいさつ</p>
会長	<p>色々説明していただいたが、こういう文言に変えたほうがいいのか、こういうやり方をしたほうがいいのか等、ご意見があると思う。時間も押してきたが、ご意見があれば承りたい。</p>
H 委員	<p>4点ある。簡単なことから申し上げる。14ページにせっきやくハラスメント対策があるので、パワーハラスメントとマタニティハラスメントについても、セクハラの続きに簡単に説明を入れて欲しい。</p> <p>高齢者、障害者等、福祉の問題の時に、ややもすると男女共同参画とイコールになってしまう。メリハリをつけるために高齢者の問題のところでは、27ページの3つ目の丸に「～高齢期の経済的基盤が脆弱であること（特に就業年数が短く年金収入等の少ない高齢単身女性は深刻な状況であること）～」と括弧書きで入れるとか。</p>
B 委員	<p>男性も多いので、「男女」と入れたほうがいいのか。</p>
H 委員	<p>「高齢期の経済的基盤が脆弱であること」に「男女」ともにいるのか。</p>
B 委員	<p>いる。基礎年金は65,000円ぐらいしかない。割合までは分からないが、男性も女性もこういう方が多い。</p>
H 委員	<p>国民年金は他の年金と比べると男女ともに安い。その問題が「高齢期の経済的基盤が脆弱である」という内容である。国民年金では男女同じだが、厚生年金などは。</p>

B 委員	<p>ない人が多い。シルバー人材センターに入会される人は、生活費の補填をする状況になっている。シルバー人材センターでは6～7万円しかないので、足しても13万～14万である。男性も入れていただいたほうがいいと思う。</p>
H 委員	<p>それなら、「高齢期の経済的基盤が脆弱である」のままでいいか。</p>
B 委員	<p>いいと思う。</p>
H 委員	<p>(女性は深刻な状況です) くらいを入れておくと、高齢者のプランではなくて男女共同参画のプランになると思う。</p>
B 委員	<p>そうしていかないと、男女のプランにならない。</p>
H 委員	<p>両方いると思う。男女で高齢期がすごくしんどいということと、やはり男女共同参画にプランの中で性別役割分担があったので、余計に女性は働き続けられず、育児・介護のために辞めざるを得なかった。引いては、国民年金以外は圧倒的に女性が少ない。</p>
C 委員	<p>おっしゃったことの下に「高齢男性の地域における孤立」とあるが、男性だけでなく女性もたくさん独り暮らしをされている。何故男性だけなのか。</p>
H 委員	<p>女性は結構話をしたり介護をしていたりするが、特に男性は孤立している傾向はあると聞いている。</p>
C 委員	<p>また別の意味で、男性はシルバー人材センター等に出て行くこともできるが、高齢女性の仕事は。</p>
B 委員	<p>仕事はあるが、男女で体力が違う。体力のある男性のほうが需要も多い。高齢者は65歳以上になっているが、実際は70歳現役で就労しなければいけない状態になっている。男性のほうが地域で孤立しているということだが、仕事を辞めてしまった男性は、自分からアクションを起こさない方が結構多い。経済的に自立できる人はいいが、できない人は引っ込んでしまって出てこないケースが多い。この意味とさっきのとは、少し違う。</p>
H 委員	<p>高齢者の男女ともにしんどいことと、特に女性がということと、特に男性がということとをミックスされている。</p>

B 委員	女性だけのイメージにならないようにしていただきたい。
H 委員	それと合わせて 29 ページの介護の問題である。女性はたくさん介護をしてきたが、今問題になっているのは男性の介護者である。介護する人の 3 人に 1 人が男性で、介護が大変なことプラス、性別役割分担の結果だと思うが、家事が苦手である。男性介護者の問題も入れてほしい。シングルの若い男性も、母親の介護が大変だと言って仕事を辞めている。介護保険は、介護するほうのことまでは支援しない。ここに「介護者の 3 人に 1 人は男性であり、男性介護者の問題への取り組みは重要である」みたいなことを入れてほしい。
B 委員	育児問題と同じで、介護問題は男性も同じように関わっていかねばならない。
H 委員	結構、虐待が多いらしい。
B 委員	若い男性の場合はそれもあるし、老老介護はどこかで無理が出る。高齢者が増えている。従来の福祉の立場ではなく、支える担い手になってしまっている。そのあたりをよく認識した上で、見直してほしい。
H 委員	最後の一点。16 ページ【市民や事業者にできること】の二重囲みに「男女が共に特性を生かして能力を発揮できる職場環境をつくりましょう」とある。すらすらと読めないことはないが、心配になった。この「特性」は、どんなふうに思われるのか。例えば、子どもを産むのは女しかできないから、育児は女がするほうがいい。それなら仕事は男性と同じようにするには無理とか。そういう特性に取られるとしんどい。ここは「男女が共に能力を発揮できる～」でいいのではないか。
会長	言葉の使い方で、感じ方が随分と違ってくると思う。他にご意見あるか。
C 委員	少し重複している部分もあるが、14 ページの【主な施策・事業】に「マタハラ」も入れてほしい。
H 委員	男性が保育所へのお迎えのために定時で退社するといじめられることを、パタハラと言うらしい。そこまで入れるのはいいか。
B 委員	もっと深く考えないといけないことは、現実に育児休業を取りやすい環境づくりがまず一番大事なことはないか。

C 委員	<p>モラハラもDVに入っている。DVの関係の 23 ページの「DV被害者支援者カードの発行・活用」には「医療関係機関等への配布」とあるが、児童虐待と同じで、医療機関との連携がとても大事だと思う。できれば「関係機関との連携」のところに「医療関係機関」も入れてほしい。</p> <p>31 ページ「さまざまな困難を抱える人々が安心して暮らせる環境づくり」のところで、今回のプランでは「LGBT」が出てきていない。アンケート調査でも 1 件あった。数少ない回答の中にも入っていた。この問題は載せないのか。5 年先までを含めたプランなので、もし触れられるなら。</p>
会長	<p>いかがか。</p>
H 委員	<p>32 ページは分かり易いと思った。男性も長時間労働で、本当は育児もしたいができない。もう少しワーク・ライフ・バランスが取れるように、男性にとっての男女共同参画とは何か。先ほどの男性介護者の問題もそうだし、育児をする若いイクメンもそうである。そのあたりをしっかりとっていかないと、少子化に歯止めがかからない。何とかこの体系図の中に「男性にとっての男女共同参画」を、例えば 1 ページの基本目標 1 の主要施策の 3 くらいに起こしてはいかがか。施策はきちんと書かれている。例えば「男性の課題に対応した男女共同参画の推進」というような項目を、是非入れてほしい。</p>
会長	<p>素晴らしいご意見だと思う。つつい、男女共同参画と言うと女性のためのという形に捉われてしまう。やはり男性も女性も共にというのが、すごく大事だと思う。</p> <p>他にご意見はたくさんあると思うが、時間がかかなり遅くなってしまった。本日の協議はこれで終了したいが、いかがか。</p>
事務局	<p>3. 次回の開催日について</p> <p>次回、この内容についてはご意見をいただいた中で再度まとめたいと思うが、アンケートのまとめについては、今日ご意見いただいたものをお送りし、それについてご意見がなければ印刷に回したいと思っている。次回会議で冊子としてお渡しできるようにしたい。</p> <p>次回会議は 1 月後半を予定している。パブリックコメントを 2 月に行いたい。次回の会議で、第 1 章～ 4 章については最終のご意見をいただいてまとめたい。第 4 回目の会議はこちらの希望で申し訳ないが、1 月 27 日水曜日の午後 2 時 30 分からお願いしたい。その時に、る一ぷ計画Ⅱの素案を完成させたい。</p>
B 委員	<p>基本目標 7、8 については。</p>

事務局	<p>基本目標8については差し替え分がある。基本目標7については、この後、見ていただき、次回の会議までにご意見をいただきたい。2月の前半に2～3週間かけてパブリックコメントとして市民からご意見をいただき、2月後半から3月前半に第5回会議を行い、素案をまとめたい。その時にパブリックコメントを含め、提言書をまとめることになる。それを市長に提出していきたい。</p> <p>本日いただいたご意見についてまとめたものを、できるだけ早く事前にお送りさせていただきたい。</p>
会長	<p>本日はありがとうございました。次回もご協力よろしく申し上げます。</p> <p>4. 閉会</p>